



平成27年8月30日(日)

支部通常総会

於 岡山県珠算会館



平成27年8月30日(日) 10時~12時



就任のあいさつ

岡山県支部 支部長 梅川 博之

さる二月十五日の臨時総会におきまして、支部長に指名され、その他の新役員も満場一致で承認されました。現在の岡山県支部も、公益社団法人の認定を受けての事業活動も、会員皆様の協力と順調に推移している状況であります。

この二月十五日の臨時総会におきまして、支部長に指名され、その他の新役員も満場一致で承認されました。現在の岡山県支部も、公益社団法人の認定を受けての事業活動も、会員皆様の協力と順調に推移している状況であります。

成のお手伝いと社会に理解して戴き進んでいくことが、私達の使命であると信じています。支部運営については、手探りではありますが、会員の皆様の惜しみない協力を得ながら「先生すなわち会員の増加」と「会員相互の助け合い」の二点を合い言葉に努力する覚悟であります。

「会員の相互助け合い」はこれから新しい公益社団法人はどうあるべきか、法人の内容等に真剣に取り組みこれからの運営のあり方等に十分配慮していく必要がある。こういう時だから「お互いに助け合って」色々なことに励むことが大事と考えます。この二点だけではなく色々な機会をとらえながら助け合っていく必要があると考えます。

色々と書きましたが、皆様方の協力と会員としての素養を身につけてがんばるつもりですのでよろしくご支援をお願いいたします。

発行所 (公社)全国珠算教育連盟 岡山県支部 岡山県東古松2-6-16 TEL 086-222-5420 発行者 梅川 博之 編集者 松岡 えみ

後援 岡山県珠算会館 岡山県教育委員会 岡山県立大学 岡山県立短期大学 岡山県立看護大学 岡山県立保健医療専門学校 岡山県立看護専門学校 岡山県立看護大学附属看護専門学校

定数報告 尾崎祈生子(総務部長) 正会員数 九十四名 出席者 五十九名 委任状 三十二名 合計 九十二名

出席者(敬称略) 梅川・尾崎・西中・羽原 藤村・西本・光吉 中野(智)・池上・松岡 落合・則武・金光・豊田 川口・松本(満)・嘉数 平川・亀山・杉本 平上(博)・中野(榮) 繁森・青山・吉田

原稿のお願い 検定十段合格者は、広報部より「山陽新聞社」に報告して掲載してもらおう。

退会者報告(敬称略) 竹井 勝美(矢掛) 三浦 正志(美作) 秋田 悦子(井原) 以上三名

前号(五月十五日付)「珠算おかやま」の一部誤りがありました。平成二十七年七月十二日(日) 10時~16時

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

- ★支部表彰 永年在籍 十五年 小笠原光男(備南) 平上一孝副理事長よりご挨拶を頂いた。 本部、支部顧問 林 直也 問田 基義 支部参与 高階 健 原田 忠文 正副議長選出 議長 光吉 博美(備南) 副議長 松本満寿子(勝英) 書記

常任委員会

平成二十七年八月三十日(日) 通常総会の前、九時~十時迄常任委員会が開かれました。

出席者(敬称略) 梅川・尾崎・西中・羽原 藤村・西本・光吉 中野(智)・池上・松岡 監査委員 中野(榮)・落合

○支部長のあいさつ ○原田支部参与より前年度三月鹿児島県において、全国珠算研究会があった。その際、理事支部長連絡会があり、理事支部長連絡会が、総会の内容を報告された。 ○研究会より 本日の講習会の内容説明、講師及び講習時間、参加者六十一名の受講者があります。



常任委員会・地区長連絡会 開催

平成二十七年七月十二日(日) 10時~16時

於 岡山県珠算会館

原稿のお願い 検定十段合格者は、広報部より「山陽新聞社」に報告して掲載してもらおう。

退会者報告(敬称略) 竹井 勝美(矢掛) 三浦 正志(美作) 秋田 悦子(井原) 以上三名

成績表・合格者数の間違い。名前・生年月日の間違い。記入漏れが多いので間違いのないようにして下さい。

成績表・合格者数の間違い。名前・生年月日の間違い。記入漏れが多いので間違いのないようにして下さい。

成績表・合格者数の間違い。名前・生年月日の間違い。記入漏れが多いので間違いのないようにして下さい。

岡山県ちびっ子 そろばん大会開催

小学3年生まで参加できます 日時 平成27年10月11日(日) 場所 岡山県生涯学習センター

各種通信競技大会のご案内

全日本通信珠算競技大会 日時 平成27年10月18日(日) 岡山県通信暗算競技大会 日時 平成27年11月30日(月) ~12月6日(日)

珠算指導者講習会

平成二十七年八月三十日(日)
会場 岡山県珠算会館
講師 岡山県教育庁義務教育課 石本康二郎先生
演題 「最近の児童の特性とそれに対処する方法」



八月三十日(日)十三時から十五時迄の長時間にわたる講演は、六十一名の受講生にとって大変意義ある内容で満足した。受講生からの感想文をいただいている。

最近の児童の特性とそれに対処する方法

備南地区 柿本かつよ

八月三十日、岡山県珠算会館で、県教育庁、義務教育課参事の石本康二郎先生のお話しがありました。

ご自分は小学校の時にそろばんを習って、大学卒業後、小学校の先生を二十数年なさったとのことでした。

そろばん教室では特別な支援を必要とする子供はめったにいないのだけれど、思っているうちに、話を聞いてもらううちに、障害がなくても、集中

しない、キョロキョロする、トイレに数回行く、私語が多い、など、どの塾にも何人かはいると思います。

しかし、そろばん塾では検定試験があり、何らかの成果を上げなければと焦るあまり叱る事も多々あります。

ところが最近ではマスコミがやたらほめて育てると言うものから、入塾の時、「しっかりと下さい」とよく書かれています。

これが私の悩むところです。今日の話の中で、先生はむやみやたらほめるのではなく、色々な対処法があるとおっしゃっていました。

例えば
一、聞いていないのにかつてに答を言う子(しからずノートに書いて)
二、バカ、ダメ、やめ、禁句
三、たとえ、比喩:は通じない
四、席を立つ子

・クールダウンさせる。
・細かくやる事を変える
15分×3セット(45分)小学校5分×9セット(45分)で実施

中国五県珠算選手権大会開催

日時 平成二十七年八月二十三日(日)

午前8時20分〜午後3時30分

於 廿日市「安芸ランドホテル」

主催 公益社団法人 全国珠算教育連盟

中国地方連合会

岡山県支部の成績は次の通り

- 団体総合競技
 - 小学生の部 三位 岡本珠算塾
 - 中学生の部 二位 若潮スクール
 - 高校・一般の部 二位 若潮スクール
- 個人総合競技
 - 小学生の部 三位 橋目 咲季
 - 中学生の部 三位 大井なつみ
 - 高校・一般の部 三位 廣石 佳穂
 - 種目別読上暗算競技
 - 二位 廣石 佳穂
 - 二位 廣石 佳穂
 - 中国五県対抗競技
 - 三位



岡山県選手団活躍しました

珠算指導者講習会を受講して

岡山地区 土井原光子

広島支部主催の講習会に岡山地区の四名の先生方と一緒に参加しました。

「児童生徒の防犯対策について」江田島警察署元署長 鎌野修先生の講演をととても興味深く聞かせていただきました。

元刑事という立場から犯罪を未然に防ぐために私共塾の先生が考えておくべきことについて教えていただきました。

「交通事故」生徒の家から塾までの道のりを確認・把握しておくこと。こちらからアクションを起こして 学校・教育委員会にある安全マップを手に入れておく。地域の人・保護者に対して防犯対策をしているということをアピールすること。塾の先生だけでは守れないことを地域の方々に協力してもらうことが大切です。また塾内においても犯罪者が侵入してきた時にパイプ椅子とか竹ぼうきとか身を守る方法を日頃から考えておくべきです。

色々と具体例を交えながらの講演はととても楽しくなりました。日頃から、塾の帰りは夜遅くなるので気を付けてはおりますが、ますます身を引き締めて、子供が安全に通える様に気を配りたいと思いました。

「小学校の算数指導」現役の小学校の校長 奥金実先生による講演も実際に行うように私達も生徒になった気持ちで問題を解きました。日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるために、時間をかけて子供と向き合っ

て授業をしていらっしゃることに感銘しました。お忙しい中講演して下さい下さったお二人の先生方、広島支部の担当の先生方、とても有意義な時間を過ごすことができました。



小学校算数教科の指導について

新年度が七月よりスタートし、新体制の基、各執行部も忙しく活動開始。我が広報部もピカピカの一年生。原稿集め・写真撮り・構成と初めての「珠算おかやま」の発行で戸惑いが一杯ある中、無事完成ホッと一息。先生方の投稿のご協力お願います。

(E・M)



講習会に参加して

高梁地区 亀山由美子
石本先生の支援を必要とする子どもについてのお話を聞

県北合同研修会

美咲地区 青山智恵美

六月十四日、久米郡商工会館にて、勝英、美作、美咲三地区による研修会を開催致しました。

他の地区からの六名参加を含む十八名の受講者でした。午前の講座は落合正治先生の「検定試験委員委嘱講習会」

いて、私が指導している子どもの中にも思い当たる生徒が何名かいる様に思います。今までは、他の生徒と同じ様に注意していましたが、言葉づかいや、指導の態度を改めなければいけないと気付きました。上から目線でなく、子どもの目線に合わせて「きちんとした言葉」で伝える様努力していきたいです。保護者との連携を取りながら、生徒に合わせた指導を心がけて信頼関係を築いていこうと思います。その結果、少しでも上級に合格できれば指導者としても幸いです。一日、大変勉強になりました。ありがとうございました。



で、二月に受講した内容とまた少し違って、用意された資料で実際に採点をして、検定委員としての厳しさを、再認識しました。そして午後の講座は豊田澄子先生の「いろいろな算法について」で、加乗法、減乗法等そろばんを使って学ぶことができました。みんなが教えあい、あつという間の二時間でした。

お二人の先生の講座を終え、今後の珠算指導、検定事業に大いに役立てたいと思いました。

最後に今回の研修会は、地区としても初めての事で、心配やら、不安でいっぱいでしたが、会員が全員協力をして、無事終えることができました。そして何より親睦を深める事ができたので、大変良かったです。

合格おめでとう!!

第三六七回・第三六八回準参段以上検定昇段者

第三六七回(珠算)	八段 太田 涼聖(吉備)	六段 藤井 美有(岡山)
四段 笹田 真衣(高梁)	五段 藤元 羽子(岡山)	四段 神原 稜(東備)
準四段 柏井 駿介(岡山)	四段 岡田 大輝(備南)	四段 藤元 羽子(岡山)
参段 寺元 真矩(岡山)	四段 岡田 大輝(備南)	四段 藤元 羽子(岡山)
三宅 那実(高梁)	参段 浅野 夏央(岡山)	参段 浅野 夏央(岡山)
坂川 美咲(岡山)	参段 長瀬 晴南(東備)	参段 長瀬 晴南(東備)
長谷川成美(高梁)	準参段 山口侑一郎(吉備)	準参段 山口侑一郎(吉備)
影山 喜音(岡山)	準参段 山下 智也(岡山)	準参段 山下 智也(岡山)
佐藤 七菜(備南)	六段 藤本 悠紀野(美咲)	六段 藤本 悠紀野(美咲)
富田 七海(備南)	五段 平田 真依(高梁)	五段 平田 真依(高梁)
野崎あかり(東備)	四段 柏井 駿介(岡山)	四段 柏井 駿介(岡山)
土居 千夏(美咲)	四段 品川 七海(新見)	四段 品川 七海(新見)
藤枝 優香(矢掛)	四段 岡田 貫(岡山)	四段 岡田 貫(岡山)
三宅 志佳(高梁)	参段 藤元 羽子(岡山)	参段 藤元 羽子(岡山)
下山美穂子(岡山)	参段 下山 颯(井原)	参段 下山 颯(井原)
池田 慎平(岡山)	参段 野崎あかり(東備)	参段 野崎あかり(東備)
谷川 舞(美咲)	準参段 藤枝 優香(矢掛)	準参段 藤枝 優香(矢掛)
片岡 和香(美作)	準参段 宮地 風花(美咲)	準参段 宮地 風花(美咲)
沖永紗弥子(美咲)	準参段 沖永 祥太(岡山)	準参段 沖永 祥太(岡山)
第三六八回(暗算)	準参段 馬場みさき(矢掛)	準参段 馬場みさき(矢掛)
九段 樂善 奏紀(邑久)	八段 土居 咲月(美咲)	八段 土居 咲月(美咲)
八段 大井なつみ(東備)	八段 森藤 慎(岡山)	八段 森藤 慎(岡山)
七段 森藤 慎(岡山)		

新入会員



美作地区
山野恵美子 (昭和16年生)



美作地区
大山由起子 (昭和38年生)

退会者

平成二十七年六月三十日現在
矢掛地区 竹井 勝美
美作地区 三浦 正志
井原地区 秋田 悦子

編集後記

新年度が七月よりスタートし、新体制の基、各執行部も忙しく活動開始。我が広報部もピカピカの一年生。原稿集め・写真撮り・構成と初めての「珠算おかやま」の発行で戸惑いが一杯ある中、無事完成ホッと一息。先生方の投稿のご協力お願います。

(E・M)